

(3)温排水漁場環境調査事業
ア 沿岸域観測調査

児玉 敦也・石田 敏一・矢倉 卓磨

1 目的

発電所前面海域および周辺海域において、水温・塩分や流向・流速をモニタリング観測し、沿岸域の漁場環境を把握する。

2 実施状況

1) 調査期間

令和6年4月～令和7年3月

2) 調査海域

敦賀（浦底・立石）・美浜（丹生）・大飯・高浜（内浦）

3) 調査方法

調査船「若潮丸」で、各海域の定点において表層～底層までの水温および塩分を CTD（多層式水温塩分計）により観測した。また、各観測定点間の航行中は ADCP（多層式超音波流向流速計）により流向・流速を観測した。併せて、気象・海象も観測した。

敦賀（浦底・立石）・美浜（丹生）・大飯・高浜（内浦）の各海域において、それぞれ年2回の観測を実施した。

3 成果の概要

1) 調査海域と調査日

海域	敦賀（立石）	敦賀（浦底）	美浜（丹生）	大飯	高浜（内浦）
年月日	R6. 4. 12	R6. 9. 4	R6. 9. 18	R6. 4. 26	R6. 4. 25
	R6. 11. 21	R7. 2. 25	R7. 3. 12	R6. 11. 15	R6. 11. 14

2) 調査結果の概要

(1) 原子力発電所から排出される温排水調査結果（第212号）

ア 敦賀市立石海域（4月12日）

表層水温は13.1～14.5°Cであった（図1-1）。また、10 m層では、12.6～12.9°Cと表層より低い水温であった。放水口の沖合海域では、東～南東向きの流れが形成されていた（図2-1）。

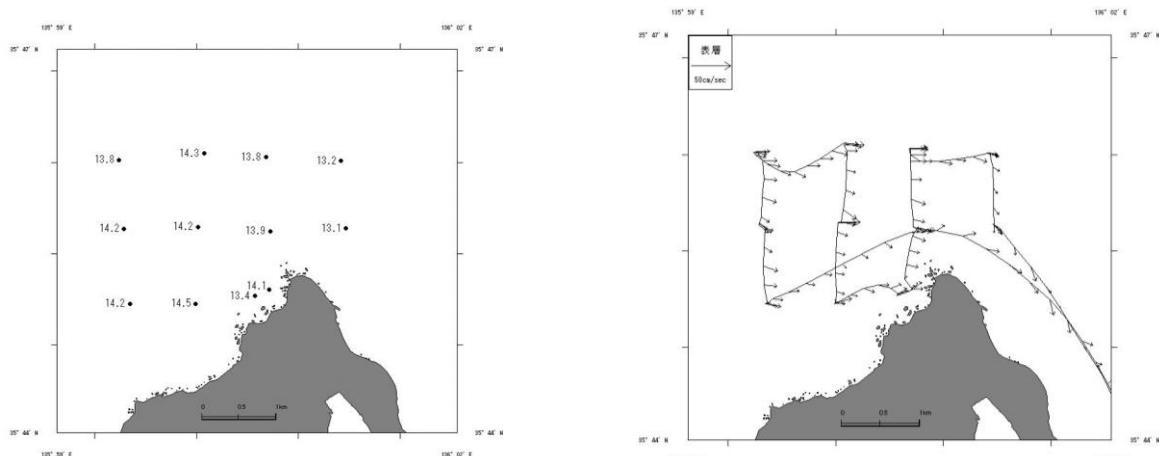


図1-1 敦賀市立石海域における水温分布（表層）

図1-2 敦賀市立石海域における潮流（表層）

イ 高浜町内浦海域 (4月25日)

表層および10 m層水温がそれぞれ16.4~20.0°C、14.8~15.5°Cであったことと、観測によって得られた図1-3、1-4の分布形状から18.0°C以上の陰影域が温排水域と判断された。温排水は放水口から北西方向に向かって湾口付近まで拡散していた。

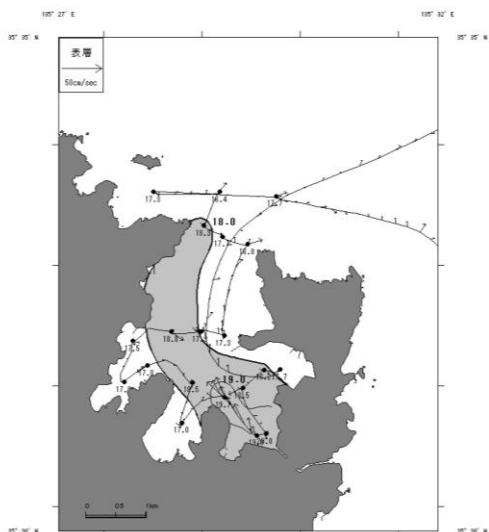


図 1-3 高浜町内浦海域における水温水平分布
と潮流（表層）

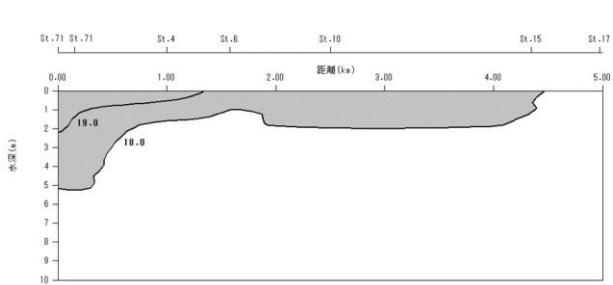


図 1-4 高浜町内浦海域における水温水平分布と潮流
(表層)

ウ おおい町大飯海域 (4月26日)

表層および10 m層水温がそれぞれ16.1~20.2°C、15.2~15.9°Cであったことと、観測によって得られた図1-5、1-6の分布形状から17.5°C以上の陰影域が温排水域と判断された。温排水は放水口から北方向に向かって拡散していた。

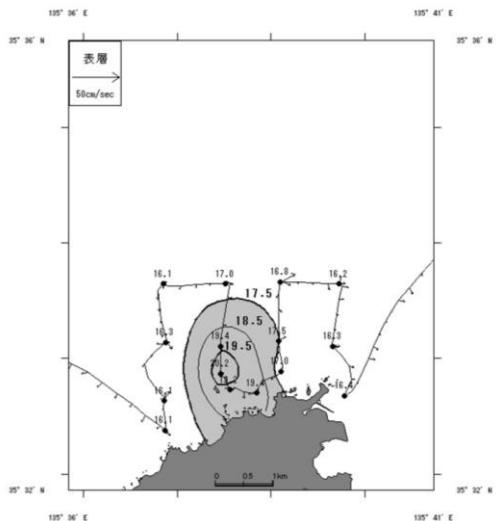


図 1-5 おおい町大飯海域における水温水平分布と潮流（表層）

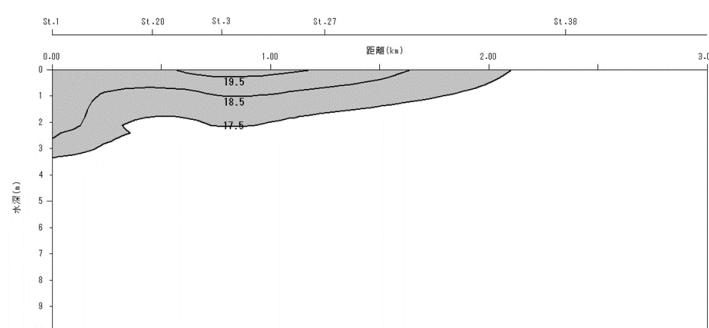


図1-6 おおい町大飯海域における水温断面図

(2) 原子力発電所から排出される温排水調査結果（第213号）

ア 敦賀市浦底海域 (9月4日)

表層水温は28.2~28.7°Cであった(図2-1)。また、10m層では、25.3~25.9°Cと表層より低い水温であった。放水口前面海域の浦底湾では、特徴的な流れが形成されていなかった(図2-2)。

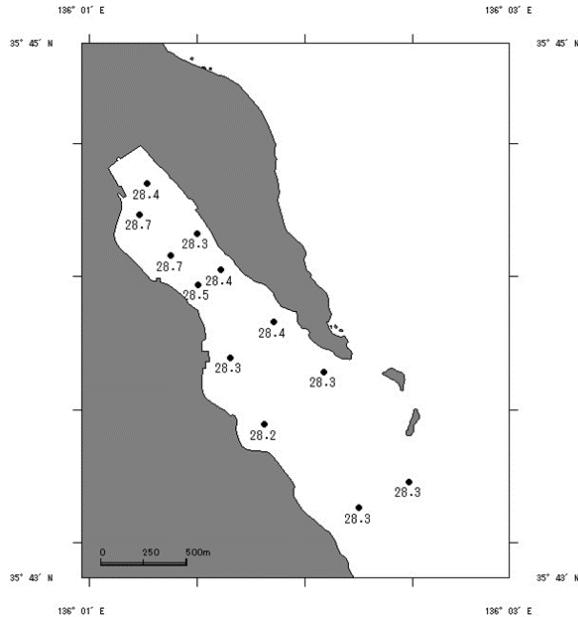


図2-1 敦賀市浦底海域における水温分布（表層）

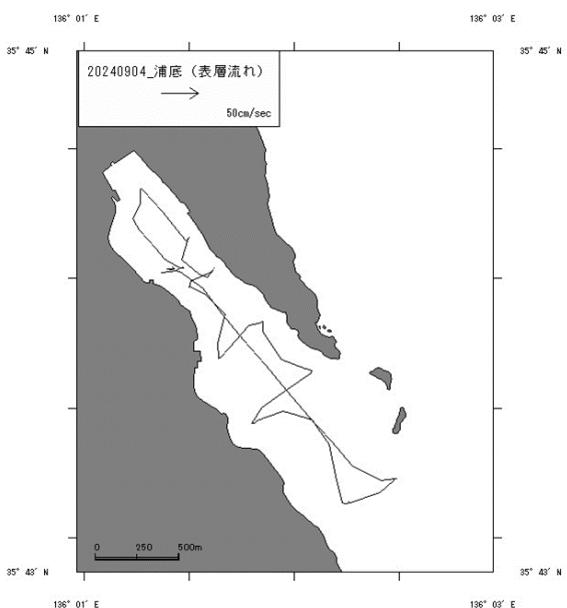


図2-2 敦賀市浦底海域における潮流（表層）

イ 美浜町美浜海域 (9月18日)

表層および10m層水温がそれぞれ29.7~32.5°C、28.9~29.6°Cであることと、観測によって得られた図2-3、2-4の分布形状から31.0°C以上の陰影域が温排水域と判断された。温排水は放水口から南に向かって拡散していく。

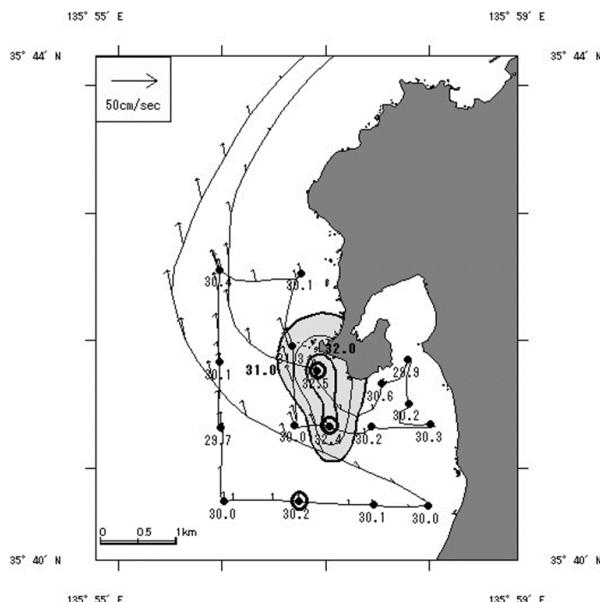


図2-3 美浜町美浜海域における水温水平分布と潮流（表層）

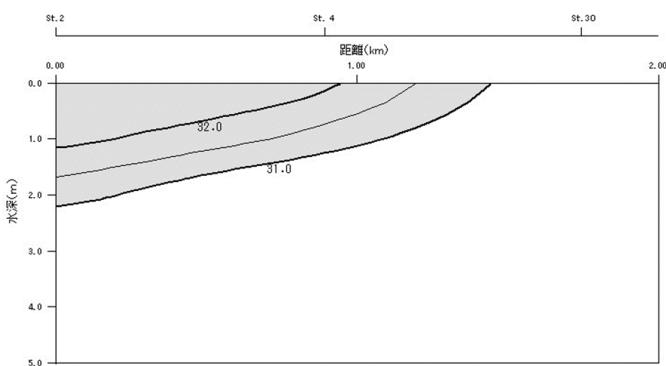


図2-4 美浜町美浜海域における水温断面図

(3) 原子力発電所から排出される温排水調査結果 (第 214 号)

ア 敦賀市立石海域 (11月21日)

表層水温は 18.3~19.2°C であった (図 3-1)。また、10 m 層では、18.6~19.2°C と表層と同程度の水温であった。放水口の沖合海域では、東向きの流れが形成されていた (図 3-2)。

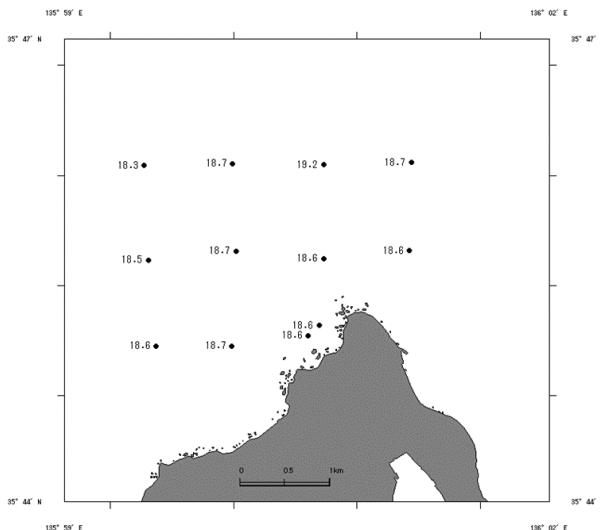


図 3-1 敦賀市立石海域における水温水平分布 (表層)

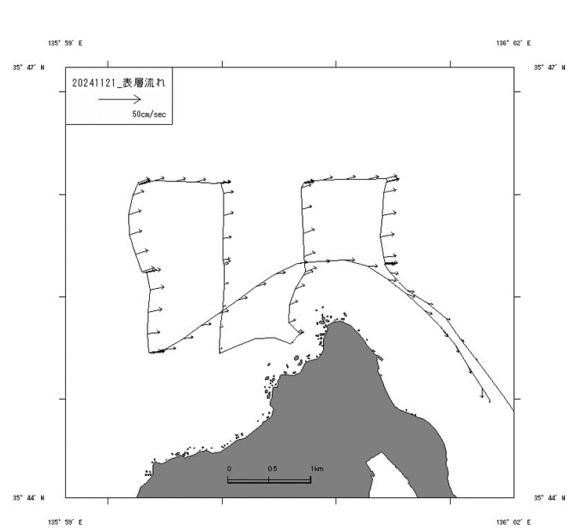


図 3-2 敦賀市立石海域における潮流 (表層)

イ 高浜町内浦海域 (11月14日)

表層および 10 m 層水温がそれぞれ 19.8~24.3°C、19.6~21.0°C であったことと、観測によって得られた図 3-3、3-4 の分布形状から 21.0°C 以上の陰影域が温排水域と判断された。温排水は湾口付近から東方向に向かつて拡散していた。

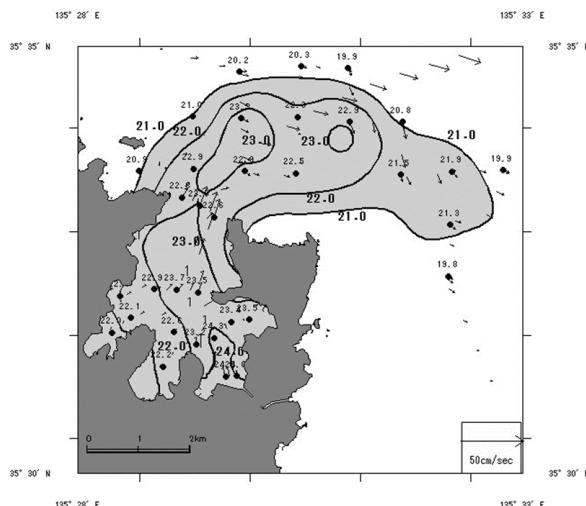


図 3-3 高浜町内浦海域における水温水平分布と潮流 (表層)

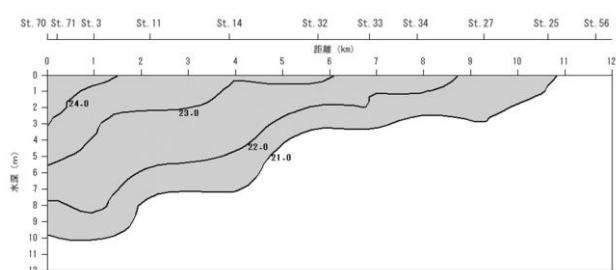


図 3-4 高浜町内浦海域における水温断面図

ウ おおい町大飯海域 (11月15日)

表層および 10 m 層水温がそれぞれ 18.5~26.0°C、19.3~19.9°C であったことと、観測によって得られた図 3-5、3-6 の分布形状から 20.5°C 以上の陰影域が温排水域と判断された。温排水は放水口から北東方向に向かつて拡散していた。

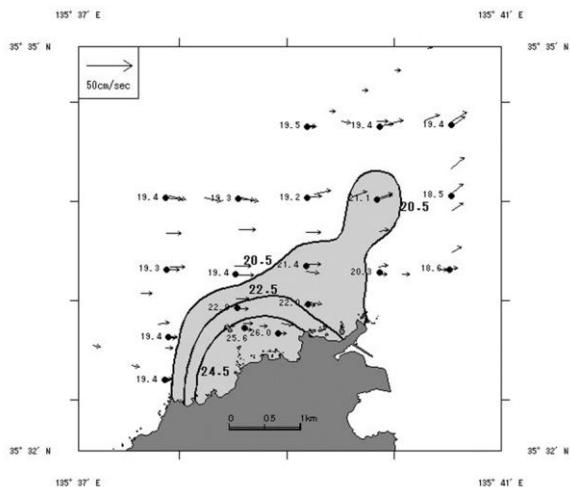


図3-5 おおい町大飯海域における水温水平分布と潮流（表層）

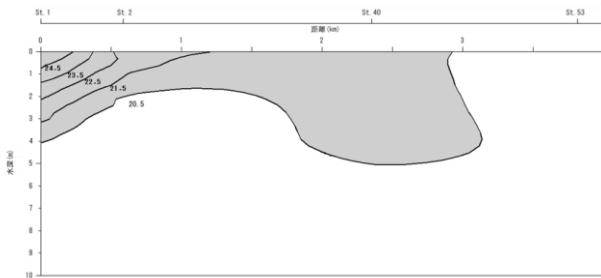


図3-6 おおい町大飯海域における水温断面図

(4) 原子力発電所から排出される温排水調査結果（第215号）

ア 敦賀市浦底海域 (2月25日)

表層水温は9.1~9.5°Cであった(図4-1)。また、10m層では、10.2~10.8°Cと表層より高い水温であった。放水口前面海域の浦底湾では、特徴的な流れが形成されていなかった(図4-2)。

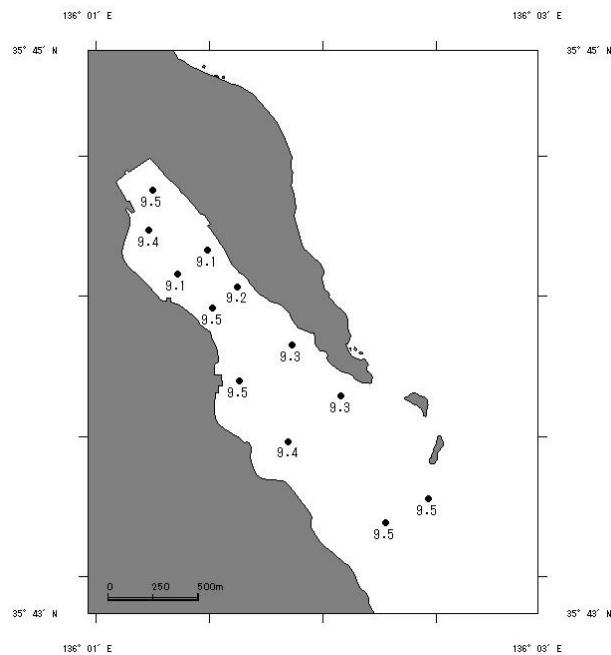


図4-1 敦賀市浦底海域における水温分布（表層）

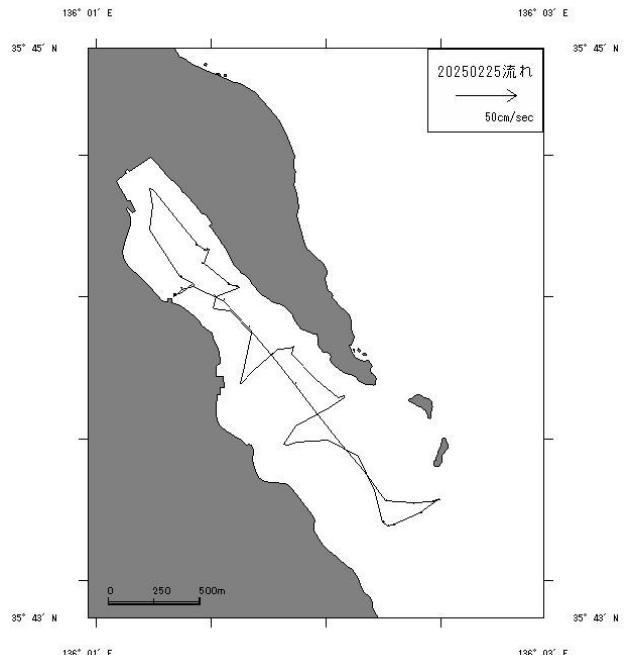


図4-2 敦賀市浦底海域における潮流（表層）

イ 美浜町美浜海域 (3月12日)

表層水温は10.1~10.3°Cであった(図4-3)。また、10m層では、10.1~10.2°Cと表層と同様の水温であった。放水口前面の海域では、特徴的な流れが形成されていなかった(図4-4)。

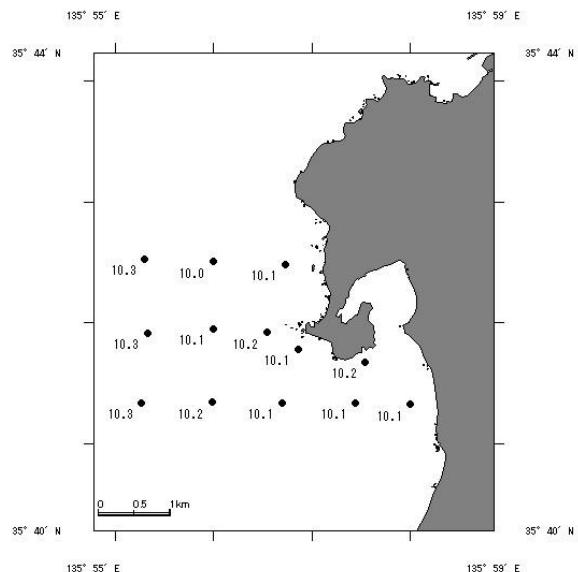


図4-3 美浜町美浜海域における水温水平分布（表層）

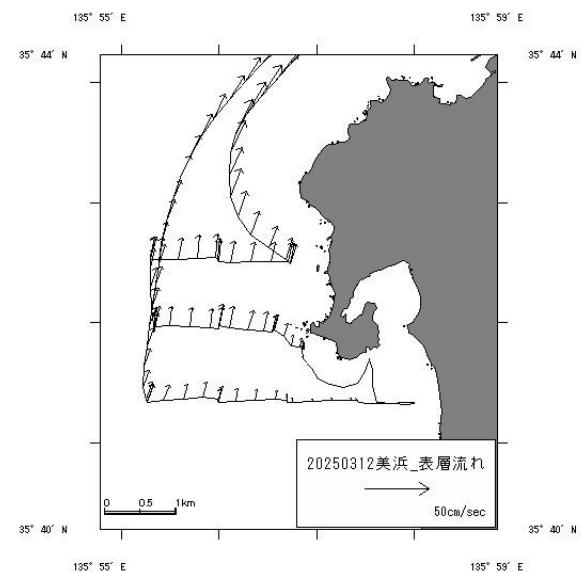


図4-4 美浜町美浜海域における潮流（表層）

調査結果の詳細については、福井県原子力環境安全管理協議会および原子力発電所立地市町担当課長会議において「原子力発電所から排出される温排水調査結果（第212号～215号）として四半期毎に報告した。